

科目名 Course Name	介護職員初任者研修講座IV Care staff beginner's training lecture IV			ナンバリング No.	I3-012		
年次	2年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護職員初任者研修ユニット必修)						
関連 DP	DP1, DP2						
授業の概要と到達目標	<p>「介護職員初任者研修講座IV」では、環境調整と家事、食事、排泄及び終末期の介護について学ぶ。介護技術の根拠となる人体の構造や機能を理解したうえで、これに関連させながら、安全で的確な支援方法、利用者の状態・状況に応じた支援の留意点等を講義・演習を通して習得する。</p> <p>①利用者の身体状況に合わせた介護、環境整備のポイントを列挙できるようにする。                  ②家事支援の機能と基本原則について説明できるようにする。                  ③食事と排泄に関するからだのしくみが説明でき、安全に支援できるようにする。                  ④終末期の考え方、対応の仕方や留意点、介護職の役割や連携を説明できるようにする。</p>						
授業の方法	講義で知識を学び、演習を通して技術の習得を行う。演習では、教員のデモンストレーションの後、グループで練習する。利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会にする。						
学習成果	L01	環境調整・家事・食事・排泄・終末期の介護の意義と目的を説明できる。					
	L02	介護の基礎的技術を習得し、利用者の気持ちを考え介護技術を提供することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	実技演習後は振り返りの時間を設け、補足説明を加えながらフィードバックする。また、レポートは評価後、可能な限り学生に返却する。						
教科書/参考図書	①介護職員初任者研修テキスト 第2巻「自立に向けた介護の実際」中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	●資格取得に向け目的意識を持ち、積極的・意欲的に取り組むこと。●演習時は身だしなみを整えること。●自己練習をし、技術の向上に努めること。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、①授業で使用する教材を準備している。②授業に集中し、必要なことはノートにとっている。③課題の提出期限を守っている。④演習時は身だしなみを整え、積極的に取り組んでいる。	20			
レポート/作品	演習後の振り返りレポートを課す(①ベッドメイキング・シーツ交換、②食事介助、③排泄介助)。S 評価は、利用者役・介護者役を体験した感想のみでなく、学びと留意点が具体的に記述されていること。		30		
発表					
小テスト					
試験	快適な居住環境整備と介護、生活と家事、食事・排泄・終末期に関する基礎知識と支援方法について理解できている。		50		
その他					
合計		20	80		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方・成績評価の方法・介護実習室の使い方・演習時の注意など) 環境整備① 快適な居住環境整備と介護【講義】
	事前・事後学習	テキスト P92～115 を読む。配布資料を読み直す。
2	授業内容	環境整備② 環境調整の技法(ベッドメイキング)【演習】 (レポート① 提出:第4回目)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P2～11 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 レポート①を作成する。
3	授業内容	環境整備③ 環境調整の技法(シーツ交換)【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P12～18 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。 レポート①を作成する。
4	授業内容	生活と家事① 家事と生活の理解【講義】
	事前・事後学習	テキスト P66～73 を読む。配布資料を読み直す。自分の食生活を見直し、授業で学習した内容を実践する。
5	授業内容	生活と家事② 家事援助に関する基礎的知識と生活支援【一部演習】
	事前・事後学習	テキスト P74～77 を読む。配布資料を読み直す。自分の衣生活を見直し、授業で学習した内容を実践する。
6	授業内容	食事① 食事に関する基礎知識【講義】
	事前・事後学習	テキスト P182～187、P198～203 を読む。配布資料を読み直す。
7	授業内容	食事② 自立に向けた食事の介護、食事の意義と目的、食事に関する利用者のアセスメント【講義】
	事前・事後学習	テキスト P188～197 を読む。配布資料を読み直す。食事介助のポイントを挙げる。
8	授業内容	食事③ 安全で的確な食事の支援【演習】(レポート② 提出:第9回目)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P30・31 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。介護用品を扱っている店舗や福祉用具のカタログを見て、介護食(ユニバーサルデザインフード)やとろみ剤、食事に関する福祉用具を調べる。レポート②を作成する。
9	授業内容	排泄① 排泄に関する基礎知識【講義】
	事前・事後学習	テキスト P244～249、P266～269 を読む。配布資料を読み直す。
10	授業内容	排泄② 排泄の意義と目的、利用者のアセスメントと安全で的確な排泄の支援【講義】
	事前・事後学習	テキスト P250～265 を読む。配布資料を読み直す。介護用品を扱っている店舗や福祉用具のカタログを見て、紙おむつなどの排泄関連用品を調べる。
11	授業内容	排泄③ 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の実際(おむつ交換)【演習】 (レポート③ 提出:第12回目)
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P34～36 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。紙おむつの使用とその介護について、排泄介護を必要とする利用者と介護者の両者の視点で考える。レポート③を作成する。
12	授業内容	排泄④ 利用者の状態・状況に応じた排泄支援の実際(ベッド上排泄、ポータブルトイレ)【演習】
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P37～41 を読み、手順や根拠、留意点を確認する。
13	授業内容	終末期の介護① 終末期に関する基礎知識【講義】
	事前・事後学習	テキスト P288～294 を読む。配布資料を読み直す。
14	授業内容	終末期の介護② 終末期ケアとは、高齢者の死に至る過程【講義】
	事前・事後学習	テキスト P295～300 を読む。配布資料を読み直す。
15	授業内容	終末期の介護③ 臨終が近づいた時の兆候と介護、基本的態度【講義】
	事前・事後学習	テキスト P290・291、P297～300 を読む。配布資料を読み直す。